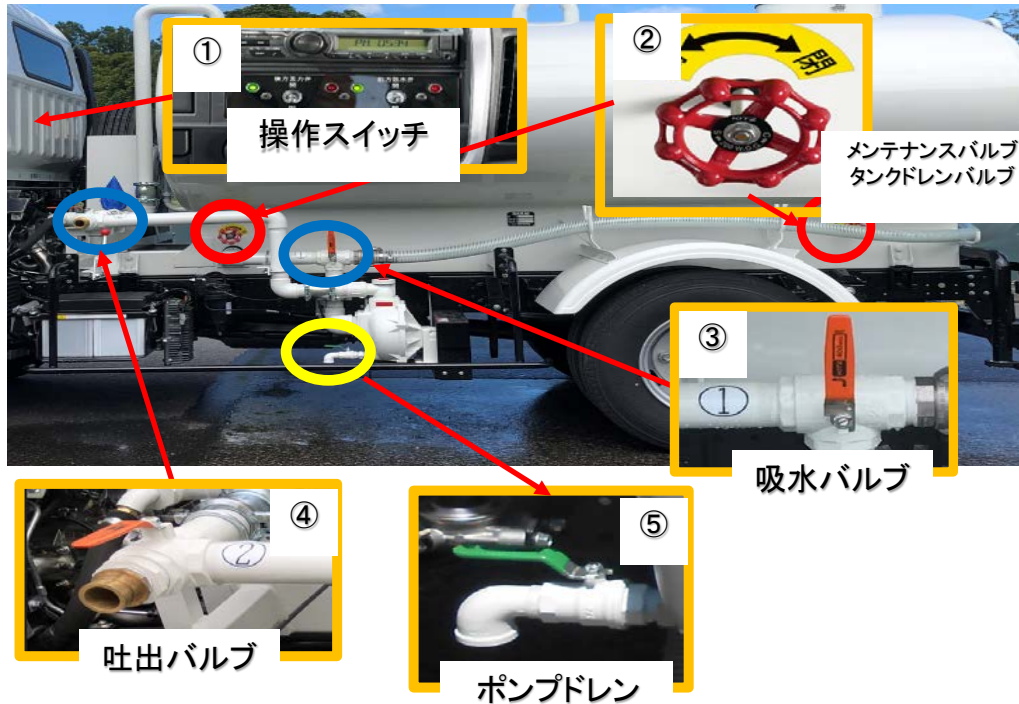


■ST4MB-1 (PTO式) 水抜き説明



- ① 運転席内操作スイッチ
※年式によりトグルタイプ、切替タイプがございます。
 - ② メンテナンスバルブ・タンクドレンバルブ
※メンテナンスバルブ・タンクドレンバルブには同じ種類のバルブを使用しております。
ハンドル上部にメンテナンスバルブ、もしくはタンクドレンバルブの名称ステッカーが張り付けてあります。
タンクドレンバルブは運転席側の場合と助手席側の場合がございます。
 - ③ 吸水バルブ
 - ④ 吐出バルブ
 - ⑤ ポンプドレンバルブ
※年式によりレバーが赤いバルブと緑のバルブがございます。
- ※ メンテナンスバルブ・タンクドレンは仕様により無いものもございます。
- ※ 写真は参考です。バルブの色、向き等が年式により異なる場合がございます。



1. 車輛のエンジンを掛けて
運転席内操作スイッチの
後方散水を「開」、前方散水を「閉」
にする。



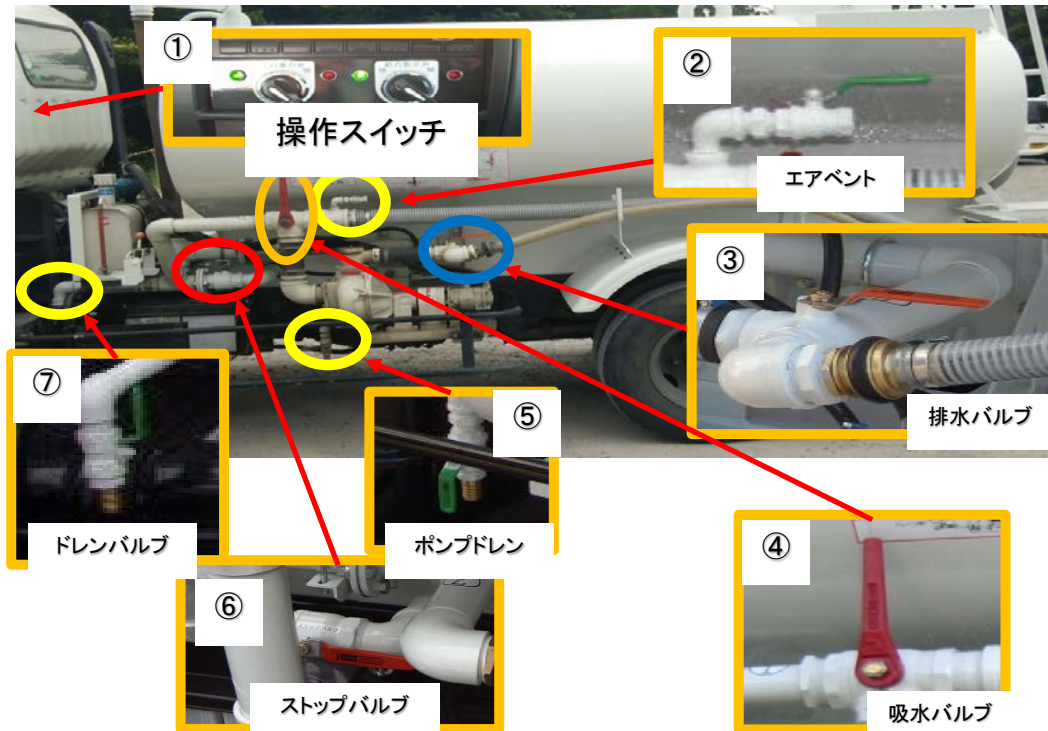
2. メンテナンスバルブ・タンクドレン
が「全開」であることを確認。



3. ①吸水バルブ・②吐出バルブの
レバーの向きを確認。
※レバーを45°にしても
水抜きが可能です。
長い期間保管する場合は
水抜き後に左写真の向きに切替えて
保管してください。

4. ポンプドレンを45°の位置に
切り替えます。
タンク、配管、水ポンプの水抜き
ができます。
長い期間保管する場合は
水抜き後に左写真の向きに切替えて
保管してください。

■ST4M 油圧(P T O) 水抜き説明



- ① 運転席内操作スイッチ
- ② エアベント (吸水ホースの水抜きに使用するバルブです)
- ③ 排水バルブ
- ④ 吸水バルブ
- ⑤ ポンプドレン
- ⑥ ストップバルブ (タンクと配管の縁を切るバルブです。凍結すると破損する恐れがございます。凍結が予想される場合は使用しないでください。)
- ⑦ ドレンバルブ

※ 写真は参考です。バルブの色、向き等が年式により異なる場合がございます。



1. 車輛のエンジンを掛けて運転席内操作スイッチの後方散水を「開」、前方散水を「閉」にする。



2. エアベント
②のエアベントは「開」にしてください。吸水ホースの水抜きができます。



3. 排水バルブ
③の排水バルブは45°の位置に切り替えてください。



4. 吸水バルブ
④の吸水バルブレバーが左写真の位置であることを確認してください。

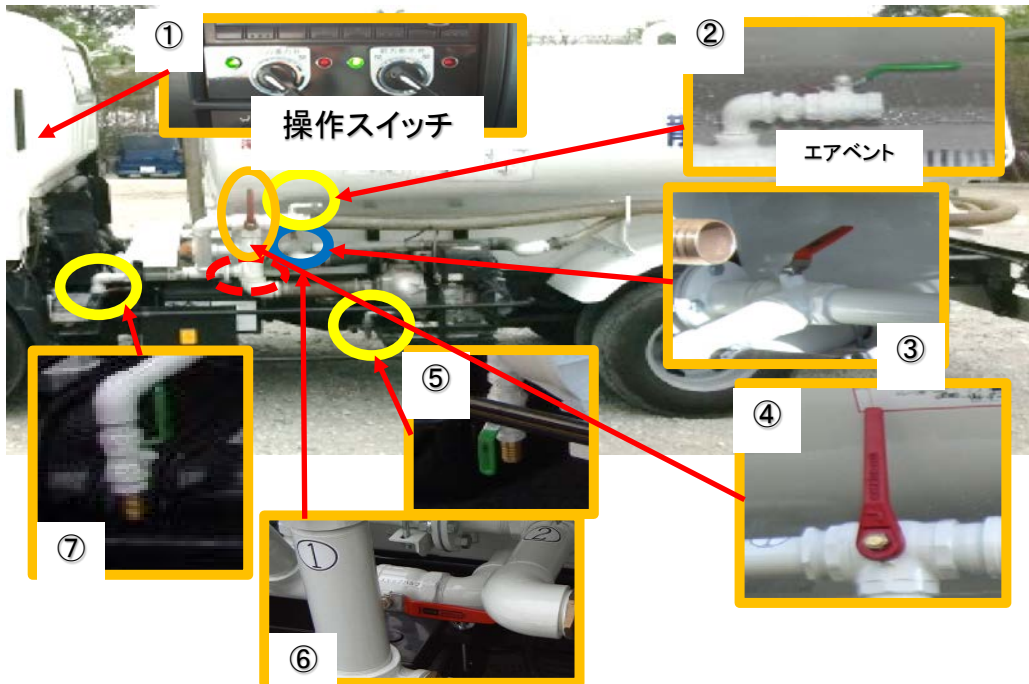


5. ポンプドレン、ドレンバルブ
⑤のポンプドレンバルブ
⑦ドレンバルブを開にしてください。



6. ストップバルブ
⑥のストップバルブのレバーが左シャシの向きであることを確認してください。

■ST4M エンジン式 水抜き説明



- ① 運転席内操作スイッチ
- ② エアベント (吸水ホースの水抜きに使用するバルブです)
- ③ 排水バルブ
- ④ 吸水バルブ
- ⑤ ポンプドレン
- ⑥ ストップバルブ (タンクと配管の縁を切るバルブです。凍結すると破損する恐れがございます。凍結が予想される場合は使用しないでください。)
- ⑦ ドレンバルブ

※ 写真は参考です。バルブの色、向き等が年式により異なる場合がございます。



1. 車輛のエンジンを掛けて運転席内操作スイッチの後方散水を「開」、前方散水を「閉」にする。



2. エアベント
②のエアベントは開にしてください。吸水ホースの水抜きができます。



3. 排水バルブ
③の排水バルブは45°の位置に切り替えてください。



4. 吸水バルブ
④の吸水バルブレバーが左写真の位置であることを確認してください。

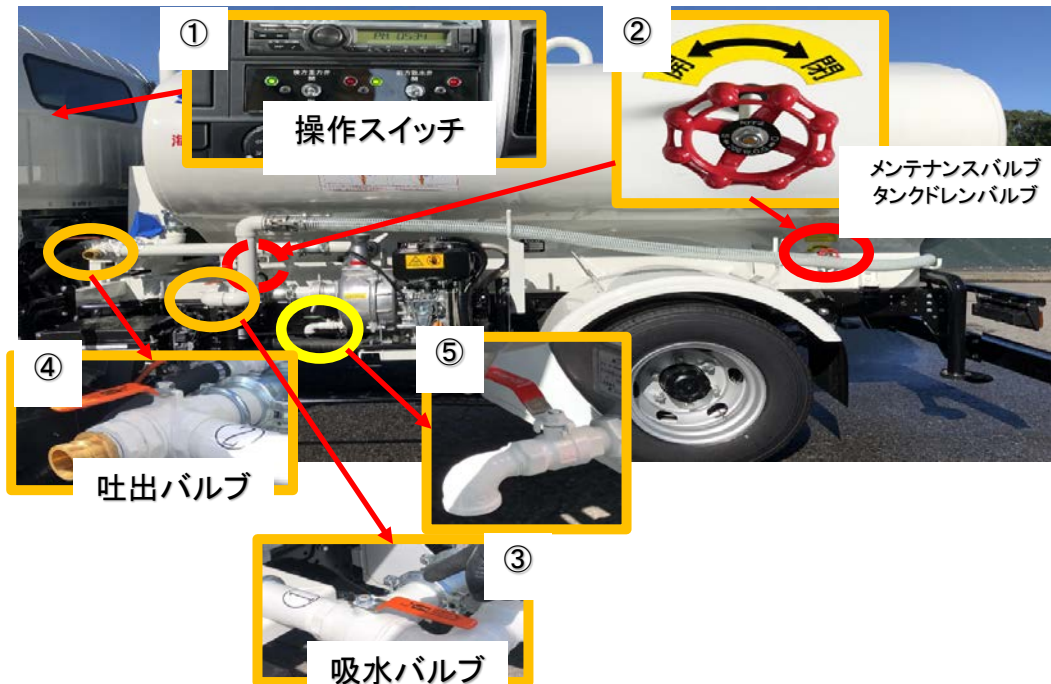


5. ポンプドレン、ドレンバルブ
⑤のポンプドレンバルブ
⑦ドレンバルブを開にしてください。



6. ストップバルブ
⑥のストップバルブのレバーが左シャシの向きであることを確認してください。

■ST4E エンジン式 水抜き説明



- ① 運転席内操作スイッチ
※年式によりトグルタイプ、切替タイプがございます。
 - ② メンテナンスバルブ・タンクドレンバルブ
※メンテナンスバルブ・タンクドレンバルブには同じ種類のバルブを使用しております。
ハンドルの上部にメンテナンスバルブ、もしくはタンクドレンバルブの名称ステッカーが張り付けてあります。
タンクドレンバルブは運転席側と助手席側の場合がございます。
 - ③ 吸水バルブ
 - ④ 吐出バルブ
 - ⑤ ポンプドレンバルブ
※年式によりレバーが赤いバルブと緑のバルブがございます。
- ※ メンテナンスバルブ・タンクドレンは仕様により無いものもございます。
- ※ 写真は参考です。バルブの色、向き等が年式により異なる場合がございます。



1. 車輛のエンジンを掛けて運転席内操作スイッチの後方散水を「開」、前方散水を「閉」にする。



2. メンテナンスバルブ・タンクドレンが「全開」であることを確認。



4. ポンプドレンを45°の位置に切り替えます。
タンク、配管、水ポンプの水抜きができます。
※長い期間保管する場合は水抜き後に左写真の向きに切替えて保管してください。



3. ①吸水バルブ・②吐出バルブのレバーの向きを確認。
※レバーを45°にしても水抜きが可能です。
長い期間保管する場合は水抜き後に左写真の向きに切替えて保管してください。